



池田町 議会だより

No.105

平成27年1月28日発行

●発行／池田町議会

●企画・編集／議会報編集特別委員会

●長野県北安曇郡池田町大字池田3203-6(池田町役場内)

●TEL.0261-62-3131

●FAX.0261-62-9529

●E-mail gikai@town.ikedamachi.nagano.jp

●http://www.ikedamachi.net/gikaihou



第1回 信州池田町ワイン祭り



CONTENTS 〈主な内容〉

12月定例会

- 12月定例会…………… 2～3
- 本議会での質問と答弁…………… 4
- 予算決算特別委員会…………… 4～5
- 常任委員会…………… 5～6

ここが聞きたい

- 一般質問…………… 7～11
- 意見交換会…………… 12
- 池田町に越してきて…………… 12
- 編集後記…………… 12

《 審 議 結 果 》

【承認】

- 災害弔慰金の支給に関する条例の一部改正 [可決]
 ‹‹自然災害により死亡、障害、家屋損害を受けたとき支給される金額の改定››

【議案】

- 特別職・一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 [可決]
 ○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 [可決]
 ‹‹子ども・子育て支援法による、事業運営の基準の制定››
 ○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 [可決]
 ‹‹児童福祉法による、設備及び運営に関する基準の制定››
 ○保育園設置条例の一部改正 [可決]
 ‹‹児童福祉法の一部改正により保育所の入所要件が変更されたことに伴う規程整備››
 ○池田町立美術館の指定管理者（シダックス社）の指定について [可決]
 ○町の義務に属する損害賠償額の決定について [可決]
 ‹‹二丁目町道において、男性が運転する自転車の前輪が道路とグレーチングの溝に挟まり転倒。緊急手術するも後遺症が残り、町が支払う損害賠償金額の決定››
 ○一般会計補正予算について [可決]

【陳情】

- 戦没者御骨体帰還に関する法律制定の賛成する意見書提出を求める陳情 [採択]
 ○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情 [採択]
 ○介護従事者の処遇改善を求める陳情 [採択]
 ○手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情 [採択]
 ○農業改革に関する陳情 [採択]

以上、陳情5件の意見書は発議とし提案され全て採択された

【請願】

- 池田町の町おこしと美術館の向上を図るための請願 [趣旨採択]



神城断層地震による住宅の倒壊（白馬村）

本会議での質問と答弁をまとめました

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

問 特定教育、保育にかかる費用負担は現在と変わらないか。この条例の59条では、国の助成があるがこれを利用するか。

答 現状と変わらない。メリットがある国の制度は使いたい。

問 児童数に対して職員配置基準は県の基準か。

答 国の基準に従う。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 小規模保育C型などは、保育資格が無くてもよく、給食は外部委託でもいいとなっている。子供を健全に育てられないと思うが。

答 保育園は保育指導要領、幼稚園は学校教育指

導により運営するので変わらないが、施設の申請があれば考慮する。

町立美術館の指定管理者の指定について

問 指定管理について議会の付帯決議は100%履行されるのか。

答 募集要項に盛り込み募集した。

問 町民への周知はどうするのか。

答 議会で承認されれば指定管理者と協議を進め、進捗状況は議会に報告する。町民には協定案ができてから報告する。

問 シダックスから指定管理料の明記はあったか。

答 各事業財政の提案はあった。協定の話し合いで協議していく。

問 管理料が3500万円の情報があったが、指定管理料の上限があっても良いのではないか。他の会社からもっと下の数字の提案があったか。

答 2500万円から3000万円の提案もあった。

問 シダックスからは3000万円から3500万円の提案か。

答 3900万円の提案だった。審査内容は運営内容も含めた審査である。

意見 4000万円に近く町民の関心も強いのでよく協議してほしい。

問 シダックスは、美術館の管理は初めてなのでしっかり話し合いを。

答 町の考えをよく伝え協議していく。

問 協定書に入場者の目標人数は記載されるのか。

答 事業計画、入場数、収益など実行力のある計画を盛り込んだ協定

書にしていく。
問 協定書はいつ示されるか。

答 27年度予算もあり2月末までに作りたい。

町道の路線の廃止について

問 町道から農道にするガイドラインは。

答 圃場整備や多面的機能支払交付金事業などの補助事業の導入時には廃止若しくは農道に格下げする。主要道路は機能保持のため変更認定する。



会染保育園のもちつき

平成26年度
一般会計補正予算

問 会染児童センター駐車場は、夕方は暗く、植え込みに乗り上げる車が多い。検討されているか。

答 検討していないが対応できる事は対応する。新年度に東側水路に擁壁を造ることを検討する。

問 出産祝い金30万円は何人分か。

答 第1子が4人分、第

2子が1人分、合計5人である。

問 ウオーキングガイドは何部作成か。ワイン祭りの決算は出るのか。

答 ガイドは1万部作成する。ワイン祭りは県の元気づくり支援金を使い300万円位あるが公表はしない。

問 鶴山東圃場整備準備委員会の補助金とは。

答 委員会の5か月分の補助金である。

予算決算特別委員会

委員会審査報告

●総括意見

総務課

・パブリックコメントの募集の際、だれでもホームページのファイルが見られるよう、基準を設けるなど改善された。

住民課

・出産祝い金の増加があり、少子化対策の効果

福祉課

・デイサービス高姫の寝浴設備の更新により、より一層の介護サービスの向上に努められた。

保育課

・保育園バスの有効活用により、園外保育等に更なる力を入れ、自然と触れ合う体験学習時間

を増加されたい。

振興課

・鶴山東圃場整備計画はワイナリー建設との関連も含め、今後の実施計画を明示されたい。

●質疑の内容

問 住宅用太陽光発電の実績と今後の見通しは。

答 平成23年が49件でピーク。25年は27件。今年度は32〜40件位である。

問 デイサービス高姫の寝浴の利用度は。

答 フル使用であり新しい人は空きがないと利用できない。

問 老人福祉計画、障がい者福祉計画のパブリックコメント募集のHPが最新のワードファイルになっており、誰でも開けないがどうか。

答 だれでも開けるようにする。

問 臨時福祉給付金の支給実態は。

答 85%である。残りの対象者には、11月、12月にわたり案内状を送付している。

問 観光パンフは年何部作るのか。

答 平均4万部である。

問 プレミアム商品券の売れ行き状況は。

答 前回は一人5セット購入できたが、今回は2セットにし、多くの人行き渡るようにした。販売に時間を要したが、完売したと聞いている。

問 マイマイガの来年の発生予測は。

答 発生年度に比べて大きさが小さくなっている。発生3年でウィルスにより死滅すると言われている。

問 ペレットストーブは灯油に比べて安価か。

答 安価である。他の木質系ストーブ(マキなど)に比べると高い。

問 道路維持経費の1丁目の工事内容は。

答 地元要望に基づき、「夕映え」から北の側溝に蓋をする工事である。

問 会染小学校の教室に不具合があると聞いたが。

答 廊下側に窓がない教室がある。小窓をつける工事を来年度予定している。

れており期待したい。

問 ペレットストーブは灯油に比べて安価か。

答 安価である。他の木質系ストーブ(マキなど)に比べると高い。

問 道路維持経費の1丁目の工事内容は。

答 地元要望に基づき、「夕映え」から北の側溝に蓋をする工事である。

問 会染小学校の教室に不具合があると聞いたが。

答 廊下側に窓がない教室がある。小窓をつける工事を来年度予定している。



ペレットストーブ

総務福祉委員会

28年度4月より町内2保育園は認定こども園に

◎特別職の職員等の給与

に関する条例の一部を改正

審査結果 可決

◎一般職の職員の給与に

関する条例の一部を改正

審査結果 可決

◎ラスパイレス指数の差は

どうか。

答 国の勧告に基づいた改正のため、大きな変動は無いと思われる。

◎特定教育・保育施設及び

特定地域型保育事業の運営に

関する基準を定める条例の制定について

審査結果 可決

問 保育料や日用品等の経費はどうか。民間が参入した時の障がい者の受入拒否等には問題は

無いか。

答 現状の保育料と変わらない。民間でも障がい者の入園は、保育の必要度が高いため、優先的に入園出来るので問題は無いと思われる。

問 保育園バスの運行は。

答 変更は無い、引き続き運行をしていく。

問 認定こども園と成って保育内容が変わるのか。

答 教育的要素の取入れで共通教育時間が4時間と成ったりするが保育内容は同じと考えている。

◎家庭的保育事業等の設備及び

運営に関する基準を定める条例の制定について

審査結果 可決

問 小規模保育事業B型やC型は特に保育士がいなくても良いと成っている

が、格差が広がるのではないか。調理も外部委託が出来るので、アレルギーの子供や添加物の管理にどう対応していくのか。

答 保育については保育要領に基づいて運営される。調理に付いても基準に基づき実施していく。

◎保育園設置条例の一部

改正

審査結果 可決

問 中途入園の条件に変更は無いのか。

答 変更は無い。

◎町の義務に属す損害賠償額の決定について

審査結果 可決

問 グレーチングの設定に問題は無かったのか。

答 工事は指定した既成品でありその時点では問題が無かった。その後自転車のタイヤの幅が狭くなってきた事は確かである。

問 まだ交換してない同じ製品があると聞いています。防止対応は。

答 出来るだけ早く交換する。段差等の解消にも

見回りをし、補修するよう指示している。

◎戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成する意見書提出を求める陳情書

審査結果 採択

意見 南東諸島にはまだまだ多くの遺骨が眠っている。遺族も高齢化し現地に往かれなくなっている。賛成である。

◎安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

審査結果 採択

意見 医療介護現場で「ミス・ニアミス」の経験がある」が80%と成っている。安全な命に関わる重大な問題である。賛成である。

◎介護従事者の処遇改善を求める陳情書

審査結果

採択



会染保育園の耐震工事

振興文教委員会

町立美術館の指定管理者候補に「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」を指定する議案を可決

意見 広域でも職員の不足が問題と成っている。介護従事者も誇りをもってやりがいのある仕事として取り組んでいるが、低い賃金で悩んでいる。賛成である。

◎「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情書

審査結果 採択

◎議案 池田町立美術館の指定管理者の指定について

審査結果 可決

【経過及び指定管理候補者の美術館運営方針】

11月28日に美術館の指定管理者の候補者を選定する審査を審査委員会8人で行った。応募4団体のうち「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」が最高点となった。町は同社を指定管理者の候補者として指定する議案を上程した。

指定期間は平成27年4月1日から30年3月31日までの3か年である。同社は道の駅、学校給食、図書館などの指定管理を行う大手企業である。グループ子会社でカラオケなどのアミューズメント事業を行い、本社は東京都調布市で松本市に支社がある。従業員は8585人、資

本金は1千万円である。同社の美術館運営方針は次のとおり。

○美術館運営は「地域づくり・まちづくり」そのものと考え、地域と協働して進める。

○自社グループの連絡網イベント事業などを利用して誘客を図る。

○学校・保育園でのワークショップなど地域との連携を強める。

○館長、学芸員、事務長(館長兼務)、施設管理員、パート4人を置き、職員研修に努める。

○最終年の来館者目標を約2万人(平成25年の1.3倍)とし、有料入館者数は15,500人とする。

○管理料の提案額は3千9百万円である(低減可能)。

【審議内容】

問 指定管理料は当初3千万円を考えているとの説明であった。提案額との差など、今後どのように進めるのか。

答 議会で議決されれば、実施協定を結ぶ作業に入

る。そのなかで、管理の内容、管理料の積算を精査し、3千万円をベースに協議していく。内容は議会にも報告する。

意見 企画展の具体的内容はこれから詰めることにしている。

請願15号のよう

うな町民要望もあるので、その点も考慮しながら検討して欲しい。

また、経費ばかりでなく、事業内容もこちらの意向に十分沿ったものとし、費用もよく精査して欲しい。

◎請願 池田町の町おこしと美術館の向上を図るための請願書

審査結果 趣旨採択

【請願の主な内容】

○町立美術館を現代アートの美術館とする。
○町をアートの街として街づくりを推進する。



指定管理者の候補者が議決された町立美術館

◎地域交流センターにギャラリートと学習室を併設する。

意見 美術館が指定管理になり、請願内容をすべて受け入れるわけにはいかない。「趣旨採択」でどうか。

◎陳情 農業改革に関する陳情書

審査結果 採択

【陳情の主な内容】

○農業協同組合法の改正に当たっては農業の多面的機能を位置づけ、協同組合の基本的性格を維持するよう強く求める。

ここが聞きたい 議員9名が一般質問



まちなか活性化の取り組み
みは
麩 聖章 議員

〔町長〕社会資本総合整備計画に基づき活性化を図る

問 後期基本計画の「区画整理等」はどのような考えか、具体的構想は。

答 前期に引き続いての構想である。大規模なもの難しい。社会資本総合整備事業も区画整理事業に当たる。

問 「公共施設が集積する利便性」とはどのような考えか。

答 まちなか周辺に、役場、公民館、図書館、小中学校等の公共施設が集積しており、利便性が高い。社会資本整備計画に基づき活性化を図る。

問 空家等の調査の公表は。

答 池田町には、現在旧住宅の空き家は、265戸存在することが確認された。写真を添付した閲覧用資料と

して整備する予定である。住宅の再利用については、所有者より申し出のあったもののみ、空き家情報に搭載する。調査物件のほとんどが老朽化している。

問 空き家対策等の条例化に向けて、研究調査すべきと考えるがどうか。

答 空き家対策の推進に係る特別措置法が公布された。空き家等が

防災、衛生、景観等地域住民の生活環境に影響を及ぼしていることに対し、生活環境の保全、活用の促進を図るとしている。県下では8市

町村が条例を制定している。県、近隣市町村と情報交換をし、対応を考える。

問 「社会資本総合計画」を核として、さらなるまちなか再生計画の取り組みを。

答 アップルランド跡地への交流センター建設を核として、隣接する商業エリアとの相乗効果が期待され、まちなか再生の核となるエリアと考えている。商業施設については、新たな民間の活用を模索している。本計画を着実に足がかりとして、再生への取り組みに波及させていきたい。

商業施設として活用が期待される「蔵」



商業施設として活用が期待される「蔵」

「山の日」の設定について

和沢 忠志 議員



〔町長〕記念イベントを計画し実施する

問 町長の公約である「山の日」の設定は。

答 公約でもあり新年度の町制施行100周年、合併60周年に併せて検討する。里山を大切にしたい、日本で最も美しい村連合に加盟している自治体として、記念イベントを計画する。毎年継続してすばらしい里山景観を内外共に評価して頂けるような体制のもと「山の日」の設定を位置付けしていく。

問 「信州山の月間」の取り組みについて

答 妊婦、育児中の方、児童生徒、成人、高齢者に対して相談員やカウンセラー等が必要に感じカウncンセリングや呼吸法・癒しのヨガ等を実施してストレスの解

問 「山の恵み」に関し、「親しむ・学ぶ・守る」という3つの視点に立ち、「山を活かす」取り組みに力点を置き地域が自発的に活動し機運の醸成を図り、民間団体、企業、町民等と協力連携した取り組みの推進を検討していく。国の「山の日」についても同様に検討していく。

答 山林保健活動は森林浴や森林療法等、地域の森林を活用した健康づくり全体の事である。森林療法の基地として大峰高原の整備を強化して「健康寿命延伸の森」として取り組むか。

問 山林保健活動の取り組みについて

答 山林保健活動は森林浴や森林療法等、地域の森林を活用した健康づくり全体の事である。森林療法の基地として大峰高原の整備を強化して「健康寿命延伸の森」として取り組むか。

問 県は子供の自己肯定感の向上に効果のあるとされる「森のようちえん」等の自然保育を取り入れた信州型自然保育の認定、登録制度の取り組みを開始したがどう考えるか。

答 町は自然環境に恵まれており、子供達も屋外の活動を好んでい果から、今後の取り組みを検討していく。

問 信州型自然保育の取り組みについて

答 県は子供の自己肯定感の向上に効果のあるとされる「森のようちえん」等の自然保育を取り入れた信州型自然保育の認定、登録制度の取り組みを開始したがどう考えるか。

問 信州型自然保育の取り組みについて

答 県は子供の自己肯定感の向上に効果のあるとされる「森のようちえん」等の自然保育を取り入れた信州型自然保育の認定、登録制度の取り組みを開始したがどう考えるか。

消やリラククスできる機会を作っていく。当面はこれらの充実を図っていく。



東山風景



町制施行100周年に 町民のアイデアを

矢口 稔 議員

〈町長〉未来に繋がるアイデアを募集する

問 来年度、池田町は町制施行100周年の年となるが、町民の方々は知らない方がほとんどである。関心を持っていただくと共に、「アイデア」を幅広く募集し、事業展開に生かしていくことが大切であると考えているが。

答 現在、庁内でプロジェクトを立ち上げ、事業内容の検討を行っている。記念事業は町民から「後世につながる事業」のアイデア募集を行い、「元気なまちづくり補助金」を拡充し、事業費補助を行うことを検討している。

町外向けスポーツ発信事業の推進を

問 池田町の素晴らしい展望を求め、ウォーキングをはじめとする町外からの観光客が近年増加している傾向にある。21年

続いてきたあづみ野池田ハーフマラソン大会の精神を引き継ぐ大会として、クラフトパークを中心に基幹農道を利用した「トレイルランニング」などのスポーツを通じたまちづくり事業を推進すべきだと考えるが。

答 総合型地域スポーツクラブ、体育協会と十分に話し合いを持ち、現在の大会の拡大、また新規大会についても検討している。

小中学生のアイデアを町づくりに

問 池田町の各学校において、自らが住む池田町を調べ、発表会などで保護者や



町制施行100周年を迎える池田町

地域の人々向けに結果を公表する機会を設けている。発表を見ると、時間をかけて町の人にインタビューをしたり、歴史の本などから推察した当時の町の姿を表現したりと多種多様であり、純粋無垢なその発表は将来の池田町を見据えた素晴らしいものばかりである。子ども達の真剣な提言を受け止めてもらえる機会を作れないか。

答 「町への手紙ボックス」などを小中学校に設置することは可能である。アイデア募集や発表の場について庁内で検討し、進めていきたい。



ワイン祭りは町民に周知の徹底は出来たのか

大出 美晴 議員

〈副町長〉新聞雑誌掲載、防災無線、全戸チャシで周知した

問 ワイン祭りは大成功だったと感じるが、町民への周知は徹底出来たのか。

答 ワイン祭りの目的は、ワインの産地として成長し、将来ワイナリー建設を目指すものである。周知については、雑誌新聞掲載、防災無線、チャシの全戸配布を行った。回を重ね池田町の一大イベントとして育てたい。

問 ワイン祭りの来年以降の計画は。

答 第2回の開催に向け、よりよいイベントになるよう検討する。

魅力ある町づくりを目指すために

問 観光大使を考えてはどうか。

答 100周年の節目を迎えるので、町をPRしてくれる著名な方がいれば検討していく。

問 特産品開発に当たり池田町独自の特産品コンテストを開催し、町民の意識向上を図っては。

答 とても良いアイデアと思う。地域おこし協力隊員が活動をする過程でコンテスト等が必要と判断した場合、前向きに検討する。

問 池田町の文化を支えてきた歴史を見直しPRに繋げては。

答 伝統文化を再発見する為の企画を開催し、町をめぐる散策イベントを実施している。今後町の歴史をめぐるコース等

を研究しより強くPRしていく。

美しい町づくりの基になるものは

問 農業者が減る中で、どう景観を維持するのか、また太陽光発電パネルの環境への配慮と、どう調和させるのか。

答 総務課・振興課と共に調整を図り、耕作放棄地とならない手立て、更に農業後継者対策も含め、農地維持と保全に努める。また近年太陽光パネルの設置が増えている。農地への設置に対しては、規制を強化している。



滝沢地区から見た風景



町内の農地集積、5年後
目標64・8%は可能か

桜井 康人 議員

〈振興課長〉 営農組合の育成、
担い手支援に取り組む。

問 米余りで米価の下落、
国の直接支払い補助金も
半額の7500円となり、
米作農家の収入は激減し
厳しさが倍増している。町
は農業経営基盤の強化の
促進に関する基本構想を
制定し、効率的経営体の
目標とし、主たる農業従
事者の所得を年500万
円としているが、現在まで
の推移は。

答 課税状況調査等の数
字からでは、平成21年2
04万8千円、22年24
1万9千円、23年283
万3千円、24年229万
6千円、25年255万6
千円ほどの状況。

問 農地中間機構が行う
特例事業がスタートし各
農業組織、町民を対象に
説明会を行い、事業展開
を図っているが、借り手、
貸し手、その規模等現在
までの進捗状況と営農組

答 10月末日限として借
り手40名、貸し手につい
ては12月期限で3名、19
筆、面積約2haの状況で
ある。営農組合が法人化
されてないと借り手が不
利になるが、国の経営所
得安定対策、多面的機能
支払等の支援策を活用し
ながら法人化に向けた取
組みを支援する。同時に
集落営農を地域で支える
体制づくりを進める。

問 稲作+ワンへの
取組みの中で、町も
高収入園芸品目の導
入としてアスパラガ
ス栽培を推奨してお
り、強力な後押しが
必要と考えるがどう
か。

答 農協、農業改善
普及センターと連携
しながらそれぞれの
品目の栽培推進に取

り組む。
問 外部からの農業体験
を例に、中学生に地元の
農業体験の必要性を感じ
るがどうか。

答 職場体験学習におい
て、一部の生徒が町内の農
場や農家で2日間、様々
な農作業を体験している。
進路選択や職業選択につ
いて学ぶキャリア教育の
充実を図る中で農業や農
業に従事することの重要
性について認識を深める
学習が大事である。農業
や自然の持つ教育力の認
識が進む中、外部からの
農業体験者と地元中学生
との農業体験交流や果た
す役割等については今後
の課題である。

問 町の人口増、定住促
進を図るための更なる子
育て支援施策として、①
小学校、中学校入学時に
3万円の地域商品券を贈
る施策。②民間の新築、住
宅購入にも助成金を贈る
施策が検討できないか。

答 新たな出費は慎重に
検討せざるを得ない。提
案された施策の実施は考
えていない。若者に喜ばれ
魅力的な子育て支援策で
対応していく。
①の施策は安倍内閣の地
方創生の財源措置で取り
入れられる内容であれば、
利用していく。②の施策
は今後の検討課題である。

問 町に定住推進員
を置き、情報の発信
や相談にのる等の活
動ができないか。ま
た、町と町民とで構
成する協議会を設置
し取り組めないか。

問 先進地の事例を
踏まえ、町として取
り組める内容を検討
したい。

問 関係業者との話し合
いのなかでも考えて
いきたい。

答 町に定住推進員
を置き、情報の発信
や相談にのる等の活
動ができないか。ま
た、町と町民とで構
成する協議会を設置
し取り組めないか。

問 人口増・定住促進に
取り組む国の地域おこし
協力隊員の導入を。

答 先進地の事例を
踏まえ、町として取
り組める内容を検討
したい。

問 人口増・定住促進に
取り組む国の地域おこし
協力隊員の導入を。

答 関係課と連携して取
り組めるよう前向きに検
討する。

問 産業振興対策として
「特産品開発に町民の
力を引出すため「特産品
開発」講座の開設を。

問 特産品開発は町民を
巻き込み地域おこし協力
隊員とも連携して進めた
い。講座の開設も今後考
えていきたい。

問 町の活性化を目指す
「町おこし」を町民の力で

問 地震時の自主防災組
織の活動マニュアル作成
を援助するため、町でマ
ニュアル案の作成を。

問 マニュアル案が示せ
るように取り組む。

問 仮設住宅建設用の用
地確保の推進を。

答 町の緊急避難地を用
地に充てる。



農地集積64.8%を目差して



町に定住推進員を置き、
人口増の取り組みを

薄井 孝彦 議員

〈総務課長〉 先進事例も踏まえ検討する



神城断層地震で倒壊した家屋(白馬村)



住宅リフォーム助成制度の延長を

服部 久子 議員

〈建設水道課長〉延長せず、次世代への補助事業を考える

問 住宅リフォーム助成制度は、景気低迷の中、多くの町民が利用し、関係業者から喜ばれた。商工会からも制度延長の要望が出たが延長するのか。

答 本年の制度利用は、8月末で月平均8件と減少している。延長はせず、今後、次世代の補助事業を検討課題にする。

問 住宅耐震補助制度の対象は、住宅だけである。最近地震が多発している。塀などの外回りも対象にすべきと考えるがどうか。

答 補強しても大地震の被害は避けられないと考える人が多い。国の制度が変更になれば考える。

問 介護保険制度改定による地域支援体制について

答 来年度から介護保険制度改定で生活支援サービス事業は、市町村毎

になるが、町の見直しは。

問 平成29年度から実施予定で準備期間があり広域連合と協議中である。

答 要支援認定者が保険から外されると対応する人材が必要である。人材育成はどうするのか。

問 専門職は広域連合と体制整備を協議する。

答 町社会福祉協議会は、介護サポーター養成や初任者研修などを中止した。町でするのか。

問 町では不可能である。ニチイ学館やハローワークでも実施している。

答 社協職場環境委員会の報告は、職場環境の悪化は事務局長の言動が原因と指摘している。どう改善するのか。



小島館の介護風景

問 第3者委員会を早急により対応する。事務局長の任期は2年間で来年度は判断していない。

答 近隣町村と共同し病児保育の実施を

問 病児保育の要望がある。松本市は病院、診療所の2か所で国の補助をしい実施している。安曇総合病院の協力を得て近隣市町村と共同で実施できないか。

答 子育て支援事業計画で病児保育施設1か所必要としている。子ども会議で検討する。大町市は大町病院で実施を予定し、松川村は検討中である。



災害時のマップ作りは

内山 玲子 議員

〈総務係長〉地区防災会のマップ作りが進むよう取組む

問 災害時自主防災会と「住民支えあいマップ」の活用方法については、今どんな状況か。11月22日夜10時過ぎ発生した神城断層地震は白馬村、小谷村で大きな被害が発生。全壊家屋多数の中、1人の犠牲者も一件の火災もななく、住民同志の助け合いによるものと絆の強さをごぞつて報道していた。池田町でも9年前から社協が窓口になってこのマップ作りを実施しているが、現在はどうかしているか。

答 17自主防災会で作った。昨年と今年更新したのは7地区で他の地区は更新していない。今年度2地区が社協の紹介する講師による防災講演を行い作成の取組みをスタートした。去る2月の豪雪以降除雪への対応を積極的に行っている地区もある。引き続き地区防災会においてマップ作りが進むよう社協と連携し取り組んでいく。



自治会の支えあいマップ作り

問 同じ郡内に住む者として何らかの協力支援を考えたい。議員有志は小谷村へボランティア活動に行つて来たが。

答 町では給水支援を災害翌日から対応準備し2日後からタンクによる支援をした。他に下水施設の点検、ボランティア活動、農地災害復旧調査、予防接種、衆議院議員選挙、被災住宅調査等に職員を派遣し、その他義援金募集に取り組んでいる。町からの災害見舞金は、大町市、白馬村、小谷村へ各10万円、美しい村連合の小

川村へ5万円送った。**問** 今後の少子化対策等特色ある住みよい町づくりの計画は。
答 第5次総合計画後期計画では、人口減少は大きな課題と位置付けている。それぞれの市町村では立地条件や今までの歴史が違う。平成23年策定の土地調査基本計画に基づき、美しい自然環境を守りながら環境整備をしなければならぬ。少子化は全国的な問題であるが、民間活力も期待し、今池田町が出来ることを一歩ずつ進めていく。



来年度予算編成について

宮崎 康次 議員

〈町長〉町民本位で次世代につながる予算とする

問 各課から予算要望が提出され、査定が始まっている。町長が特に力を入れる来年度の政策は何か。

答 平成27年度は町制施行100周年・合併60周年事業、高瀬中学校体育館改修、池田小学校体育館改修、総合体育館耐震診断、街路灯再整備、消防無線デジタル化、安曇総合病院改築に伴う負担金、池田小学校耐震調査等の大型事業がある。

本年度より社会資本総合整備計画に基づく事業がスタートする。徹底した経費削減を敢行する。

後期基本計画との整合に十分留意し、最小の経費で最大の効果を挙げ町民本位で次世代につながる予算とする。

問 全国的に投票率の低さが問題になっている。

「若者の低投票率傾向」と「中高年の投票率の低下」である、どう考えるか。

答 投票率の低下は課題となっており、「選挙管理員会」や「明るい選挙推進協議会」が投票率の向上に向けて様々な広報活動を行っている。県の明るい選挙推進フォーラムの中でも、子どもの時代から選挙に関心を持つってもらう学習の必要性が挙げられている。先月14日に行われた衆院選では、当町は過去最低の62.07%となったが、期日前投票は増えている。今後期日前投票を充実させることが大切と思う。

問 アベノミクスで大企業は息を吹き返してき



衆議院議員選挙期日前投票所

たが、中小企業はまだまだに低迷しているところが多い。商工会が頑張ってくれているのは良くわかる。行政が商工会の背中を押してやる働きかけをお願いしたい。

答 県の元気づくり支援金を活用し「北アルプス地域ものづくり産業活性化連絡協議会」を立ち上げ、これからの課題となる次世代経営者及び経営を支える職場リーダーの人材育成を主に、ソフト面での強化を行っている。近年では安曇野市のコーディネーターとも連携し、情報交換している。

賛成・反対討論

【反対討論】

◎議案 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

保育所の民営化を意図している。保育の公的責任の後退につながる可能性がある。反対する。

薄井孝彦

◎議案 家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

保育士の資格がなくても保育ができるなど、子供の健全な成長を保證せず、保育格差につながる。反対する。

薄井孝彦

◎保育園設置条例の一部改正

保育の公的責任の後退につながる。反対する。

薄井孝彦

【賛成討論】

◎議案 町立美術館指定管理者の指定について

町からの指定管理費は、当初の額に近い指定管理費になるよう交渉を進めること、議会が付帯決議とした10項目を運営に生かす事、年度ごとの監査を議会に公表する事を求め賛成する。

服部久子

◎美術館指定管理者の指定については、事前に議会でも十分に審議し

更に指定管理策定選考委員会に議会代表として議員も参加し、透明な選考が出来たと考える。今後は運営上の細部について行政の考えを十二分に反映させ、町民の期待に沿える運営が出来よう指導が必要と考える。行政は過去指定管理運営としたハーブセンター福祉会館の運営実績を精査し、将来に向け町のため、町民のために歓迎され、有益な指定管理運営が出来よう、行政指導を厳密に行うことをお願いする。

桜井康人



寝浴設備

ひとくちメモ
一口メモ 【寝浴】とは

高齢者または、障害者が寝た姿勢のまま入浴ができる特殊浴槽設備です。専用ストレッチャーを浴槽の所定の位置に移動します。



地域おこし協力隊員

川田 諭さん
(一丁目)

この原稿を書いている時、地域おこし協力隊員として池田町に越してきて、ちょうど4か月が経っています。

私は自転車に乗るのが好きで、協力隊員の面接に初めて池田町に訪れた時も、穂高駅からレンタサイクルで街中を回遊して面接会場の役場まで来ました。なんて美しい場所なんだと、その時の興奮を今でも良く覚えています。クラフトパークからぶどう畑を通して眺める北アルプスの雄大な眺めは、自分の小ささを再確認することが出来る大好きな場所になりました。そんな印象を持って越して来てから、しばらく経ちました。町の中でいろいろと活動されている

町民の意見交換会

去る11月5日、公民館、多目的研修センターの2ヶ所で開催された。参加者数は2ヶ所計20名であった。

- 商業施設の建設を早くしてもらいたい。町の審議会の動きが鈍い。
- 歳を使う話があったが、町は積極性がない。
- 町の総合計画では5年後、10年後のビジョンが明確でない。外部に依頼するのではなく、住民が創りあげる計画を。審議会委員に一般の公

者の力は必須です。集まる場所、夢を語る場所、そういうコミニティが必要だと感じています。これから担う世代がこの町で、ワクワクするものが出来る。変化する価値観の中で、従来とは違う社会性の在り方を模索しなければなりません。決まった答えがあれば楽なのですが、それはあ

募を多くしてほしい。ホテルの町づくりを積極的に推進してほしい。意見交換会の開催が嬉しい。回数を多くしたり、自治会単位くらしいの意見交換会を希望する。

- 議会定例会の細かい委員会の開催日程など、情報を公開すべきだ。
- 全町清掃デーが形骸化している。無線放送だけでなくしっかりと取り組んでほしい。花の補助等では意味がない。
- 美しい村連合に入っているもゴミが多すぎる。特に町の中が多

い。不法投棄が減らない。住民課でしっかりと対応してほしい。社会福祉協議会に混乱が起きているが、議会の対応は不十分ではないか。

安曇病院の診療科に脳外科、産婦人科がない。何とかしてほしい。自治会に町がすべき活動を丸投げしている部分が多い。

- 町民が美術館と関わっていきけるような態勢にしてほしい。
- 美術館の管理者は町内の方にすべきだ。



意見交換会 (多目的研修センター)

編集後記

希望に満ちた新しい年を迎え、新たに生きる力を与えてくれる大自然の営みに感謝し、今年には災害の無い年に成りますよう心から願ってやみません。昨年11月22日に発生した「神城断層地震」により大きな被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今年には戦後70年目にあたり、平和の大切さについて考える年でもあります。干支は羊であり、家族の安泰といつまでも平和に暮らす事を願っていると云われています。この一年が町民の皆様にとって健康で穏やかな年でありませうお祈り申し上げます。

和澤忠志

議会報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 服部 久子 |
| 副委員長 | 和澤 忠志 |
| 委員 | 矢口 新平 |
| | 桜井 康人 |
| | 薨 聖章 |
| | 立野 泰 |